

### ■「日本薬学会第140年会」において、本学の学生2名が講演ハイライトに選出されました

日本薬学会第140年会は、2020年3月25日（水）～28日（土）に国立京都国際会館を主要な会場として開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止となりました。

そのため、本年会はプログラム集の発行とWeb要旨の公開をもって成立となり、ハイライト要旨がWeb公開されることとなりました。

氏名：衛生化学分野 5年次生 浅田 あゆみ

演題：炎症性腸疾患はunpredictable chronic mild stress低感受性マウスにおいてうつ様行動を誘発する

演者：浅田あゆみ、鈴木杏、河本実季、大嶋廉之、宮永佳代、長澤一樹

氏名：薬剤学分野 博士課程4年次生 内藤 千尋

演題：ヒトiPS細胞由来三次元培養皮膚を用いた薬物の経皮吸収性及び毒性の評価

演者：内藤千尋<sup>1</sup>、山口朋子<sup>2</sup>、勝見英正<sup>1</sup>、木村思瑠<sup>1</sup>、亀井咲知<sup>1</sup>、森下将輝<sup>1</sup>、坂根稔康<sup>3</sup>、川端健二<sup>2</sup>、山本 昌<sup>1</sup>（<sup>1</sup>京都薬大、<sup>2</sup>医薬基盤・健康・栄養研究所 幹細胞制御プロジェクト、<sup>3</sup>神戸薬大）

※学年は受賞当時のもので掲載しています。

### ■生薬学分野の松田久司教授が学術貢献賞を受賞しました

2020年3月25日に京都で開催された「日本薬学会」において、生薬学分野の松田久司教授が学術貢献賞を受賞しました。

受賞者：生薬学分野 教授 松田 久司

演題：伝承薬物に含まれる生体機能性分子の薬理的解明研究



### ■本学の乾賢一名誉教授が「Highly Cited Researchers 2019」に選ばれました

科学を大きく21分野に分け、それぞれの分野で高被引用論文を閾値以上発表した研究者を表彰するクラリティ・アナリティクスの「Highly Cited Researchers 2019」に本学の乾賢一名誉教授が選ばれました。

※2019年は世界60か国で約6216名、日本は98名

Pharmacology and Toxicology 名誉教授 乾 賢一

詳細は<https://recognition.webofsciencegroup.com/awards/highly-cited/2019/>



### ■「私立大学研究ブランディング事業」本学担当教員共著の『Handbook of In Vivo Chemistry in Mice: From Lab to Living System』（Wiley-VCH）が出版されました。

本学の私立大学研究ブランディング事業実施メンバーである河嶋秀和准教授、木村寛之准教授、長谷川功紀准教授、有光健治助教らが共著者として執筆した『Handbook of In Vivo Chemistry in Mice: From Lab to Living System』（Wiley-VCH）が出版されました。

本書は小動物を用いた実験に関する解説書であり、本学教員のイメージング研究の成果、ラジオセラノスティクス研究への取り組みなどが紹介されています。 ※本学図書館にて貸出可能です。

6章：Single Photon Emission Computed Tomographic Imaging in Live Animals

Yusuke Yagi<sup>1</sup>, Hidekazu Kawashima<sup>2</sup>, Kenji Arimitsu<sup>1</sup>, Koki Hasegawa<sup>3</sup>, Hiroyuki Kimura<sup>1</sup>

<sup>1</sup> Kyoto Pharmaceutical University, Department of Analytical and Bioinorganic Chemistry,

<sup>2</sup> Kyoto Pharmaceutical University, Radioisotope Research Center,

<sup>3</sup> Kyoto Pharmaceutical University, Center for Instrumental Analysis,

7章：Radiotherapeutic Applications

Koki Hasegawa<sup>1</sup>, Hidekazu Kawashima<sup>2</sup>, Yusuke Yagi<sup>3</sup>, Hiroyuki Kimura<sup>3</sup>

<sup>1</sup> Kyoto Pharmaceutical University, Center for Instrumental Analysis,

<sup>2</sup> Kyoto Pharmaceutical University, Radioisotope Research Center,

<sup>3</sup> Kyoto Pharmaceutical University, Department of Analytical and Bioinorganic Chemistry,

